



～こんなことができるようになったよ～【生活習慣編】



【ひよこ組】

【1歳児…畳んでみよう!】

・ひよこ組さんは登園するとスモックを脱いでロッカーに入れます。まだ自分では脱げませんが、お手伝いしてスモックを脱いだ後は、そのまま『ポイツ』とせずじただんでしまう練習をしています。



・頑張って畳んだスモックですが、持ちあげた瞬間に崩れて手元から落ちてしまったり、お友達のロッカーと間違えたりとなかなか思う通りに行かない姿が見られました。

■ 簡単に見えて子どもには難しい作業です。自分のマークを覚え、畳んだ物をそっと持ち運ぶには神経を使いますね。繰り返しやることで感覚をつかみできるようになっていくと思います。

【0歳児…「いただきます」を覚えよう!】



・0歳児さんは絵本を見て『いただきます』の挨拶を頑張っています。『いただきます』の場面では『せーの』と声をかけるとそのタイミングでそれぞれが手を合わせたりお辞儀をしたりとかわいい仕草が見られます。毎日声かけを繰り返すことで挨拶が習慣づくと思います。

【りす組】

【うがいをしよう!】

・外遊び後の手洗いの習慣が身につけてきたので、次はうがいに挑戦しました。

＜子どもの様子＞

- ・『ガラガラうがい』と『ブクブクうがい』は出来るが、使い分けが難しく、やり忘れも多かったです。
- ・絵カードを見せて、まずはうがいをすることを意識します。
- ・集中してきたらブクブクとガラガラの違いを口の動きがわかるようにやって見せました。「上を向いてガラガラと言ってみよう。」「お顔はそのままでもほっぺを左右に膨らませてみよう。」などの声かけで一緒にしました。
- ・絵カードを見ることで興味を示し自分で口の動きをやってみるようになりました。
- ・まずは自分の場所に座って水を含まない状態でやり方を覚え、その後は順番に水盤のところで水を含みながらうがい練習を続けました。

■ 子ども達はブクブクうがいが難しく繰り返し口の動きを練習することで、こぼれる水も減ってきているので、引き続き続けていきたいです。



【うさぎ組】

【手洗いをしよう!】

・簡単なようで難しい手洗い。暑い日は手洗いでなくただの水遊びとなり、冬は出来るだけ水に触れたくないので手先をちょっと濡らして終了になります。そこで手洗いの習慣づけに挑戦しました。

＜子どもの様子＞

・手のひらや甲は洗えますが、指の間や手首を洗う子はわずかでした。
・まずは子ども達が興味を持つように保育室に手洗いの順番のポスターを張り、手洗いのCDも用意しました。

・手洗いの順番を覚えるため、机にシートを敷いて手のひらに1プッシュの泡を手に乗せ、歌に合わせてみんなて座って手順を覚えます。
・手順を確認したら次からCDを流し一人ずつ手洗い場で洗いました。

■ CDのうたを覚えることで手順通りにできる子もいますが、興味のない子は手に泡をつけたと同時に水で流す様子が見られました。みんなが手順は覚えたようなので、手洗いの必要性を繰り返し伝え習慣づけるように根気よく伝えていきたいです。



【年中児組】

【自分で衣服を畳んでみよう!】

・泥んこや水遊びでは自分で服の着脱をすることはもちろんのこと、衣類もきちんと畳む練習をしてきました。時には上手く畳めない時もあり子ども達も悪戦苦闘することがありました。そこでどうしたら上手く畳めるか練習をしました。

＜子どもの様子と対応＞

- ・衣服の畳み方を画用紙で洋服を作ったりポスターを張ることで興味を示し、端をきちんと合わせて畳む子や速さ重視で畳み方は気にしない子など様々でした。
- ・上手にできた子に対し『角がきちんと合っていて偉いね。』『しわしわにならなくて素敵だね。』と声をかけるとどの子もやる気になり気をつけて畳むようになってきました。

■ 初めから上手にできなくて当たり前なので、少しでもやる気になって頑張ったことを褒めることで自信に繋がり、きれいに畳むことが身のまわりをきれいにすることにも繋がっていくことを知り、クラスの本棚を片付けるなど意識が高まりました。



【年長児組】

【お支度をスピードアップしてみよう!】

・朝の支度、食後の片付けなど『支度』をするときにお尻をベタッと床に着けて支度をする子どもが多く、座りこんでしまうと、どうしても動作がゆっくりになってしまうので、就学に向けて支度のスピードアップへの取り組みをしました。

＜子どもの様子と対応＞

- ・どうしてもロッカー前で座りこむことが多いので、おしりかじり虫のイラストを意識してロッカーの前に貼り、そこに座りこまないよう、まずは目からの意識付けをしました。
- ・イラストがあることで、子ども達は楽しんで取り組んでいました。『座っているよ。』と子ども同士で声を掛け合う姿や自分で気をつける様子が見られました。

■ 部屋以外にもトイレや玄関などで靴を履く際に『お尻をつかなくてもはけるよ。』と意識して取り組む姿が見られました。その反面まったく気にとめない子どももいて個人差があったので根気よく声掛けしていくことが大切だと感じました。

